



令和2年度 妻南小学校の学校経営 ～ 継続と発展 ～

①の矢 日常授業の充実と改善を図ることにより、『学力の向上』を目指す。【継続】

②の矢 学校の働き方改革を推進することにより、『教育の質の向上』を目指す。【継続】

③の矢 出会いの教室の展開により、『キャリア教育の充実』と『社会に開かれた教育課程の実現』を目指す。【発展】

学校教育目標

『自分の考えや気持ちを、自分の言葉で、自分の意見として堂々と表明できる児童の育成』

教育目標具現化のキーワード

「自立」自分のことは自分でできる

今、自分は何をなすべきか考えて行動する

「感謝」自分を支える家族、友人、先生、地域の方々すべての人に感謝する

「貢献」感謝の心を言葉や行動で表現する

めざす学校の姿

【子ども】	にとって	妻南小に明日も行きたいと思える学校
【保護者】	にとって	妻南小に通わせてよかったと思える学校
【地域】	にとって	妻南小があってよかったと思える学校
【教職員】	にとって	妻南小の教職員でよかったと思える学校

めざす教職員の姿

- 子どもの可能性を信じ、最後まで見捨てず寄り添う教職員
- 家庭や地域と連携し、地域全体で教育のできる教職員
- 研究と修養に努め、「教養」と「指導力」を高める教職員
- 服務規律の遵守に努め、自らを律することのできる教職員

核となる教育活動

◇ 児童が主役の学校づくり

→ 児童会活動の充実

◇ 寄り添う教育の推進

→ 「I'm here for you」

◇ 学力の向上

→ 「基礎学力(テストで評価できる学力)」の向上～アウトプット型の授業

→ 「総合的な学力(点数化できない学力、生きる力)～体験活動の充実

◇ コミュニティスクール、地域学校協働活動の推進

→ 学校と家庭、地域との密接な連携と信頼関係づくり

→ 地域人材の活用、小・中・高一貫教育の推進

◇ 一部教科担任制の実施

◇ メンター方式による職員研修の実施